

きらめき NEWS

VOL. 14 (2025. 12)



萩原なつ子さん
独立行政法人国立女性教育会館
理事長

○日本の男女共同参画のあゆみと背景
大日本帝国憲法では女性は無権利とされ、明治民法では家長制度が導入され、女性差別がありました。
戦後、日本国憲法が公布され、法の下の平等（第14条）、家庭生活における両性の平等（第24条）が定められ、女性の

10月11日にやまぐちネットワークエコー（山口市）の主催により、独立行政法人国立女性教育会館の萩原なつ子理事長を講師とした講演会が山口市で開催されました。
当日は、男女共同参画のあゆみと背景、令和時代の男女共同参画などについて講演され、65人の方が参加されました。

男女共同参画ブラッシュアップ事業 令和時代の男女共同参画！ 一人ひとりに輝けるステージを！

権利が少しずつ認められました。
1945年、衆議院議員選挙法の改正により女性の参政権が認められ、翌年の衆議院議員選挙で1380万人の女性が投票し、39人の女性国会議員が誕生しました。
男女の完全な平等達成に貢献することを目的とした女性差別撤廃条約が1979年に国連で採択され、1986年に日本でも施行されました。日本では女性差別撤廃条約の批准にむけて、「国籍法改正」、「高校の家庭科の男女共修」、「男女雇用機会均等法の制定」の3つの改正が行われました。
○基本となる法律
1999年に男女共同参画社会基本法が施行され、男女共同参画社会を実現するための5本柱（①男女の人権の尊重、②社会における制度又は慣行についての配慮、③政策等の立案および決定への共同参画、④家庭生活における活動と他の活動の両立、⑤国際的協調）を掲げ

ています。
地域で一人ひとりが輝く社会をつくるためには、5本柱の中の「社会における制度又は慣行についての配慮」が特に重要ですが、明治憲法や明治民法等によって刷り込まれた性別役割分担意識がまだ根強く残っています。
これからは、無意識の偏見を解消し、男女がともに協力しながら、年齢関係なくやっていくことが令和時代の地域づくりだと思います。そして、一人ひとりが能力を発揮できるように環境を整え、やりがいや幸福を感じるウェルビーイングで多様性を活かす地域になってほしいです。
○令和時代の男女共同参画
1994年に学習指導要領の改訂が行われ、高校の家庭科の男女共修が実施されました。現在の30代後半～40代がこの共修世代にあたり、例えば男性もワーク・ライフ・バランスを考えて仕事を選ぶようになってきているなど、意識がかな



県民活動推進委員リレーコラム Vol.11 「頑童^{がんどう}？」と「はぶてる^{はぶてる}？」が地域づくり

久保田 宏司さん
（頑童の会・殖生てる
：山陽小野田市）

山陽小野田市の西端に位置する殖生^{はぶ}は、高齢化・人口減少に伴い、スーパーの閉店、学校の統廃合、保育園の閉園など、ネガティブな状況が続いています。

このような状況に対し「自分たちの手で何とかしたい」という思いを持った仲間が集結し、様々な活動を行っています。

「殖生頑童」という地域の悪ガキを指す言葉から名付けられた『頑童の会』は、交流の輪を広げ、次世代の育成、地域の魅力創生を目指して活動しています。

清掃活動や地元行事への協力、小学生対象の漁業体験や文化財を活用したイベントを開催するなど、地域資源を活かし多



世代交流を促しています。
また、地域での交流人口増加を目指し、多業種のメンバーで『殖生てる』を結成しました。

産業面での地域活性や賑わい再生を目指し、地元企業や団体と連携したマルシェの開催、他地域行事への参加も積極的に行っています。

「はぶてる」は「すねる」や「ふくれる」というマイナスイメージの方言ですが、殖生地域では活性化の旗印として徐々に定着してきています。

私たちは、地域づくりの当事者として地域と連携しながら、自慢できる故郷づくりを目指して活動していきます。



財団イベントスケジュール

開催日	イベント名	主催者	会場
12/4 [㊥] 、1/29 [㊥] 、2/6 [㊤]	きらめきスキルアップセミナー①、②、③	NPO 法人やまぐち県民ネット21、山口きらめき財団	パルトピア山口
12/6 [㊤]	全部知ってたらすごすぎー！山口県の色んな社会課題 in 山ヒメ	山口ヒメ倶楽部	ときわ湖水ホール
1/17 [㊤] 、1/24 [㊤]	つながる団体交流会②、③	山口きらめき財団	萩市、下関市
1/25 [㊤]	県民活動フェスタ岩国	やまぐち県民活動促進実行委員会	フジグラン岩国
2/21 [㊤]	子ども食堂とまと×岩国短期大学～地域の子育て支援を未来へつなぐ～	子ども食堂とまと	フジグラン岩国
3/15 [㊤]	きららでキラリ！県民つながるカンファレンス	やまぐち県民活動促進実行委員会	パルトピア山口
3/15 [㊤]	県民活動フェスタ周南	やまぐち県民活動促進実行委員会	周南市

（秋吉台国際芸術村）

開催日	イベント名	料金	時間
1/11 [㊤] ～2/8 [㊤]	「ポスコン?!2026」展覧会	無料	10:00～17:00
1/25 [㊤]	秋吉台芸術祭 組曲「山頭火」	一般3,000円、学生1,000円	14:00～
3/7 [㊤] ・8 [㊤]	アートフェスティバル2026	無料	9:00～17:00
3/23 [㊤] ～26 [㊤]	第14回秋吉台音楽コンクール サクソフォーン部門	無料	調整中

令和8年度きらめき活動助成金等のご案内

当財団では、助成金の募集を例年の日程で準備を進めています。
募集に当たって説明会を開催しますので、お気軽にご参加ください。
助成金の募集内容や説明会の日程等は正式に決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

○説明会の日程、場所(予定)

柳井市:12/14[㊤]、山陽小野田市:12/20[㊤]、周南市:1/21[㊥]、岩国市:1/25[㊤]、宇部市:1/30[㊤]、
防府市:1/31[㊤]、下関市:2/7[㊤]、萩市:2/8[㊤]

発行

“男女が共同して参画し、文化が薫り、県民活動が広がる”
公益財団法人 **山口きらめき財団**

〒753-0021
山口県山陽小野田市桜島三丁目2番1号 山口県宮野庁舎2階
TEL 083-929-3600 FAX 083-924-9096
メール info@y-kirameki.or.jp



財団理事長表彰「きらめき賞」

県民活動や男女共同参画、文化芸術の各分野において、他の模範となる優れた活動を行われた6団体に、村岡理事長から「きらめき賞」が授与されました。

表彰式は、「県民活動きらめき賞」は10月25日に開催された「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」内（山口きらら博記念公園）で、「男女共同参画きらめき賞」は10月22日に県庁で行われ、受賞された皆さんは大変励みになると喜ばれていました。



県民活動きらめき賞



男女共同参画きらめき賞

《県民活動きらめき賞》

団体名	代表者	所在地	活動内容
大殿ホテルを守る会	福永 俊明	山口市	・小学校、自治会等と協働して「山口ゲンジボタル」の人工飼育、放流等 ・ホテル生息地の一の坂川や榎野川周辺の環境保護
下関奇術連盟	池内 忠良	下関市	・施設訪問や地域のふれあい行事などでのマジック披露、交流 ・下関芸術祭「奇術の祭典」へ毎年参加
チャイルドライン しものせき	中川 浩一	下関市	・「チャイルドライン」の電話相談対応 ・子ども講座及び電話の受け手養成講座の開催
野菊の会	福重 和代	山陽小野田市	・視覚障がい者と晴眼者が一緒にハイキングなどを楽しむ企画を継続実施 ・小学校や高校と連携して、視覚障がい者のサポート体験などの啓発活動
プランニューフォース	河野 宏明	柳井市	・柳井市の柳北地域の活性化に向けて各種イベント（盆踊り、ダムまつり、どんど焼きなど）を継続開催

《男女共同参画きらめき賞》

あぶのべっぴん市	小田 千菊	阿武町	女性が中心となって、行政や関係団体と連携しながら、空き家等を活用して「あぶのべっぴん市」を毎年開催し、手作り品の販売やワークショップ等を通じて地域産品の販路拡大・知名度向上に寄与するとともに、住民のコミュニティづくりにつながる交流の場を創出するなど、女性の活躍に幅広く貢献
----------	-------	-----	--

◆ 企業ボランティア活動促進モデル事業所

企業の社会貢献活動を進めるため、社会貢献活動やボランティア活動を行う従業員への支援などを積極的に行う県内企業を、モデル事業所に指定しています。

今年度は新たに3事業所がモデル事業所に指定され、10月25日開催の「きららでキラリ！県民つながるフェスタ」内で村岡理事長から指定書が贈呈されました。

《指定事業所》

合同会社まちふく、三笠産業株式会社、
明治安田生命保険相互会社 徳山支社柳井営業所



り変わってきたという調査結果が出ています。これは、家庭科の男女共修の成果ではないかと言われており、教育は重要だと思っています。



このように意識が変わってきていても、現在でも家庭、地域、議会など、物事を決定する場には女性が少なく、重要なことは男性が決めています。

また、共働き家庭が8割なのに、女性の家事時間は男性の3倍、育児時間を加えると5倍で、家事・育児は女性がするものというバイアスが原因で圧倒的に女性に負担がかかっています。

だから現在でも、家庭、学校、地域、職場、メディアによってアンコンシャスバイアス（無意識の偏見 やマイクロアグレッション（無意識の差別的言動）が刷り込まれ、様々な場面で無自覚に現れています。

○人生100年時代の4つのワークとは
人生100年時代の課題は、2030年には3人に1人が65歳以上で、80歳以上に占める女性の割合が62・8%に

なります。そのため、要支援・要介護を必要とする女性が多くなり、男性も親や配偶者の介護の担い手としての負担が増加します。

人生100年時代の働き方、暮らし方で、私が注目する考え方にイギリスのチャールズ・ハンディさんが提唱した「4つのワーク」があります。4つのワークとは、①家庭ワーク（家事、育児、介護）、②仕事ワーク（雇用、自営、兼業・副業）、③学習ワーク（学び直し、勉強会）、④ギフトワーク（ボランティア、社会活動）で、この4つを男女ともにバランスよく行いましょうという考え方です。

特に、ギフトワークは令和時代にとっても重要だと思っています。最近ではウェルビーイングの概念が社会全体の健康と幸福の基盤として重要視されており、ギフトワークが地域社会のウェルビーイングの要になります。

地域を元気にするためには、健康寿命だけでなく貢献寿命（社会に貢献する寿命）をどう伸ばしていくかも重要となります。

○持続可能で、リスクに強い、誰一人取り残さない地域社会の実現
子どもの貧困、障がい者などの社会課題は多様化しており、誰一人取り残され

ない社会をつくっていくためには、自助・共助・政治がセットが必要です。そして、地域で様々な活動に取り組む人たちと繋がり、多様な主体が参加・参画して地域課題に取り組む社会が大事です。様々な地域課題に対応するには、緩やかなネットワーキングとノットワーキング（結び目を作る）が重要となります。地域で何か課題ができた時に、この人とこの組織を結び、課題が解決したら結び目をほぐくというノットワーキングを繰り返すと、緩やかなネットワークになり、社会の健康に繋がっていきます。

○独立行政法人国立女性教育会館

独立行政法人男女共同参画機構法が成立し、当会館は令和8年4月より「独立行政法人男女共同参画機構」という新しい名称になります。

今後は、全国のセンターや学校、企業などと連携・協働しながら、日本のジェンダー平等を進めていきますので、ご期待ください。



おめでとうございます

このたび当財団の小谷典子評議員長（山口大学名誉教授）が「令和7年 秋の叙勲 瑞宝中綬章」を受章され、また西山香代子評議員（やまぐちネットワークエコー代表）が「令和7年度 男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受賞されました。

長年にわたるご尽力に心から敬意を表しますとともに、これからのより一層のご活躍をお祈りいたします。